

2021年9月17日

報道関係各位

**大塚化学 徳島工場のコージェネレーションシステムを更新
グループ各社への電力と蒸気供給の最適化により
年間約 8,000 トンの CO₂ 排出量を削減**

大塚ホールディングス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO:樋口達夫)の子会社である大塚化学株式会社(本社:大阪府大阪市、代表取締役社長:土佐浩平)は、自社の徳島工場にあるコージェネレーションシステム更新の起工式を9月16日に行いましたのでお知らせいたします。なお、本システムの稼働は、2024年を予定しています。

当社徳島工場では、2007年にコージェネレーションシステムを導入し、隣接する大塚グループ各社の工場へ電力と蒸気を供給することで、エネルギーの効率利用を推進してきました。当社のコージェネレーションシステムは、都市ガスを燃料として発電し、その際に発生する熱を工場の冷暖房や蒸気等の用途に有効利用しています。今回、エネルギー利用効率の最大化を図るため、多様な事業を行う各社の工場の稼働状況に合わせて、最適な需給バランスで電力と蒸気を供給することが可能であり、より環境負荷の少ないシステムへ更新を行います。これにより、大塚グループのCO₂排出量は年間約8,000トン^{*1}(約3,000世帯の年間の排出量に相当)^{*2}削減される見込みです。

大塚グループでは、環境への取り組みにおけるマテリアリティ(重要項目)を「気候変動」「資源共生」「水資源」と特定し、「気候変動」においては、「2030年にCO₂排出量30%削減^{*3}」を目標に掲げ、再生可能エネルギーの積極的な導入や効率的なエネルギー利用を推進しています。大塚グループは、今後も新しい技術やソリューションの活用を通じ、グループ一体となって環境負荷低減の取り組みを進め、脱炭素社会ひいてはサステナブルな社会の実現への貢献を目指してまいります。

*1 : 現行システムの2019年データとの比較

*2 : 家庭部門CO₂排出量より算出

*3 : 大塚グループ2017年比。国内および国外のCO₂排出量が対象

大塚化学株式会社(Otsuka Chemical Co., Ltd.)

設 立 : 1950 年 8 月 29 日
資 本 金 : 50 億円
代 表 者 : 代表取締役社長 土佐 浩平(とさ ひろよし)
本 社 所 在 地 : 〒540-0021 大阪府大阪市中央区大手通3-2-27
従 業 員 数 : 514 名(2020 年 12 月 31 日現在)
事 業 内 容 : 化学品の製造販売

大塚ホールディングス株式会社 (Otsuka Holdings Co., Ltd.)

設 立 : 2008 年 7 月 8 日
資 本 金 : 816 億 90 百万円
代 表 者 : 代表取締役社長 兼 CEO 樋口 達夫(ひぐち たつお)
本 社 所 在 地 : 〒101-0048 東京都千代田区神田司町 2 丁目 9 番地
従 業 員 数 : 111 名(2020 年 12 月 31 日現在)
内 容 : 持株会社

この件に関するお問合せは、下記にお願いします。
大塚化学株式会社 総務部 廣西(ひろにし)
TEL. 03-5297-2727 FAX.03-5297-2777
URL: <http://www.otsukac.co.jp/>